

本山講

12月7日（日）午後2時より
お勤め・法話

法話 能登教区 ^{ほんりゅうじ}本龍寺 ^{みまき}三牧 ^{ひとし}準 師

講題 ^{わたくし}「私を支えてくれているもの」

会場 ^{しんきょうじ}真教寺（南砺市本町）
☎ 0763-82-0097



当日は、令和6年能登半島地震で被災された方々の支援金を集めますので、温かいご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。
合掌

「本山講」とは富山教区第四組（井波庄川地域、砺波市庄南・庄西・庄東地区、高岡市北般若地区）の寺院と門徒、及びその地に住まいする方々によって「念仏の相続（仏法聴聞）、本山（別院）護持」を目的に開かれる「お講」です。
お勤めの後、本山講御消息が拝読されます。
御消息とは、幕末に京都御所蛤御門の兵火で焼失した本願寺の再建協力を依頼された本願寺21代巖如上人から門信徒へあてられた手紙のことです。
巖如上人は明治27年1月15日、現在の本願寺落成を見ることなく前年に亡くなりました。